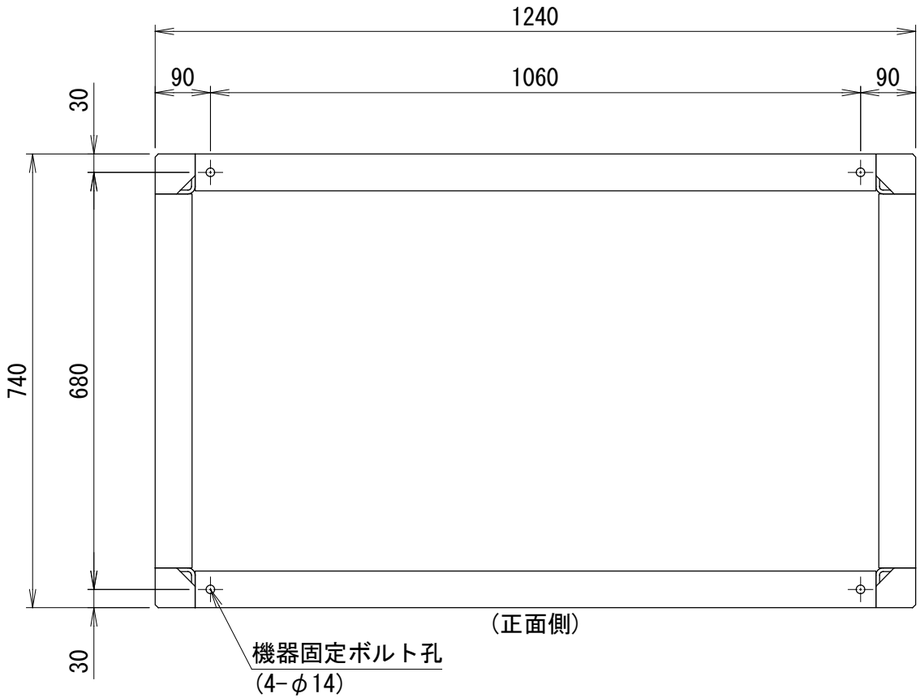
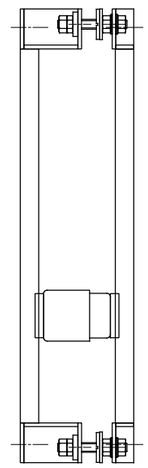
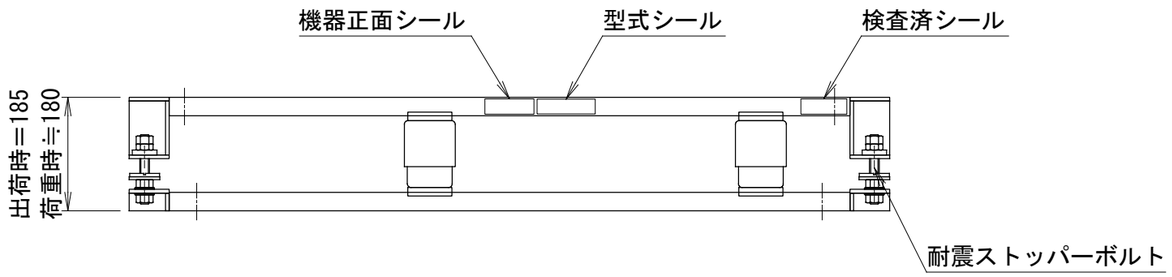
# 防振架台仕様書

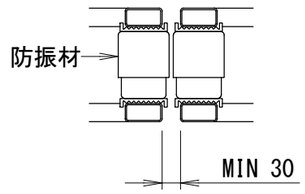
| | |
|---|---|
| 型式 | |
| 機器 | |
| 現場名 | |
| 系統名 | |
| 架台質量 | 38 kg |
| 防振材(コイルスプリング) NS141-65 1.39[kgf/mm] | 6 個 |
| 上ベース □60x30xt3.2 | 17.4 kg |
| 下ベース □60x30xt3.2 | 15.2 kg |
| 耐震ストッパーボルト M16 | 4 本 |
| 耐震基準 | 水平 2.0 G, 鉛直 1.0 G |
| 表面処理 | 溶融亜鉛めっき HDZT63 |
| 適用地域 | 重塩害地域 |






〈架台の隣接〉
防振架台同士を隣接する場合は
防振材の干渉を避けるために
30mm以上の離隔を確保してください。

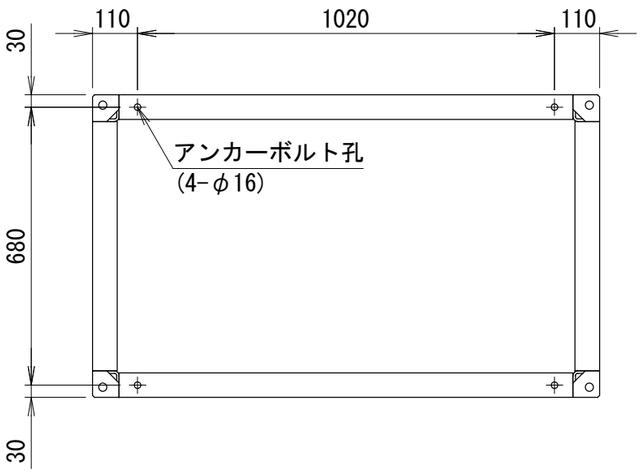



〈付属品〉

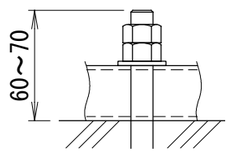
| | |
|---|---|
| 機器固定ボルト M10x70L (平W, 角W, NTx2付) | 溶融亜鉛めっき 4 組 |

〈備考〉

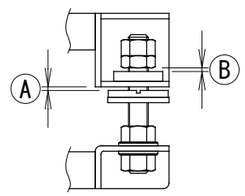
〈アンカー寸法図〉 SCALE= 1:15




〈アンカー〉(参考)
接着系アンカー(M12)
有効埋込：90mm以上




〈ストッパー〉




〈注記〉
1. 架台の据え付け
   据付面の水平を確保願います。
   不連続基礎や鉄骨への設置では支持面積を極力広くしてください。
2. アンカーボルトは含まれておりません。
   先様にてご用意ください。
3. 防振材の初期配置は理論上のものです。
   状況に応じてレベル調整をお願い致します。
   レベル調整は防振材の移動で行います。
4. ストッパーの調整
   機器設置後に左図 Ⓐ Ⓑ 共に1～2mm程度隙間を開けてください。
5. 品質改善のため製品の仕様は予告無く変更する場合があります。

| 番号 | 日付 | 改訂記事 |
|---|---|---|
| 1 | '20.09.17 | 図枠更新 |
| 2 | '23.08.29 | 図枠更新 |
| | | |
| | | |
| | | |

| 発行日 | 承認 | 設計 | 作図 |
|---|---|---|---|
| '19.05.30 | 加納 | 内野 | 内野 |

ネミー株式会社

図番 1－MDB645#E2－H

A3 SCALE= 1:10